

# 渡辺大三 NEWS

2009年2月・3月号

編集発行 こがねい情報公開市民会議／市議会会派「みどりの風」

〒184-0015 小金井市貫井北町1-12-1-502

電話 090(3345)6929 FAX 042(381)5074

morinomiya247725203079@softbank.ne.jp



## 新たな住民投票制度を議員提案 市長と議会に拒否権与えず

### 10%以上の署名が提出されれば、住民投票を実施

1月22日に開催された市議会臨時会で、市民の皆さん1万252名（有権者の11%以上）が直接請求した「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例案」が、賛成10・反対11・退席2の1票差で否決されました。民意を確認することなく、駅前の無駄なハコモノ建設に狂奔する稲葉市長とその与党に厳重に抗議するものです。

そのような事態を受け、2月6日、私は、他の議員にも呼びかけて、「住民投票の投票資格者の10%以上の署名が提出された場合、市長や議会に拒否権を与えず、住民投票を実施する」ことを柱とした市民参加条例の改正案を議員提案しました。

市政に関する選挙の投票率は概ね40%台です。したがって、その4分の1から5分の1に相当する投票資格者から請求があれば、住民投票を実施すべきだと考えます。この考え方は、民主党が衆議院に提出した法案の趣旨を具現化させるものであり、すでに川崎市などで条例が制定されています。

条例案は、2月17日の市議会総務企画委員会で審査の後、3月3日の本会議で採決に付されます。

この条例が可決されれば、住民投票の投票資格者の10%以上の署名があれば、原則として、市長にも議会にも拒否権を認めず、住民投票が実施されることとなります。

#### 与党の主張は「根拠薄弱」「支離滅裂」

「市役所建設場所を選ぶ住民投票条例案」は、長年の無為無策で、ごみ処理施設問題が大きく混乱する中、駅前一等地への無駄なハコモノ建設を見直さない稲葉市長やその与党に対して、市民がレッドカードを突きつけたものでした。

市長与党は、市民の怒りに慌（あわ）てて、いろいろな印刷物を配布しているようですが、その内容は「根拠薄弱」「支離滅裂」です。

たとえば、ある与党は、「リース庁舎は無駄ではない」としながら「リース解消のために駅前に庁舎を」と主張しています。



市議会本会議で条例案を説明する渡辺大三  
（前列右から二人目が稲葉市長）

## 渡辺大三のプロフィール

私は、リース庁舎は無駄遣いだと考えています。床面積 6000 m<sup>2</sup> (ハーフサイズ) のリース庁舎の 10 年分の賃料は 23 億円です。その賃料を解消すれば解消した時点からの 10 年間で 23 億円の賃料支払いが解消されます。それにリース庁舎で返金される保証金 7 億円を合わせれば、30 億円となります。30 億円あれば、蛇の目ミシン跡地に 50 年は使える、床面積 12000 m<sup>2</sup> (フル規格) の市役所庁舎が建設可能です。「リース庁舎が無駄ではない」というのは、このような客観的な数字から考えてまったく根拠がありません。

別の与党は「駅前市役所に図書館も併設」と主張しています。「92 億円の駅前市役所」の評判があまりに悪いので、「セット販売」を思いついたのでしょうが、そもそも市役所と図書館を併設する必然性はありません。また、併設となれば床面積を大幅に増やすこととなりますが、一体いくら財源が要るのか、数字がまったく書いてありません。私は、市役所と図書館本館は蛇の目ミシン跡地に建て、駅に近いスペースには市役所出張所 (各種証明の発行や諸手続を行なう) とミニ図書館 (新聞・雑誌・新刊本を中心にしたもの) を設置すればいいと思います。地価も建物価格もべらぼうに高い駅前再開発地区に巨大なハコモノを建てると数十億円規模の無駄を生みます。

また別の与党は、「リース庁舎を買い取るべき」と主張しています。しかし、そのチラシには、リース庁舎を巡って、地主と信託銀行の間に「30 年間の土地信託契約」が有り、それに基づいて建設されたことがまったく書いてありません。また、いつの時点で買い取ることが可能なのかも書いてありません。「30 年間の土地信託契約」がある以上、信託銀行は 30 年間このビルを市に貸し付けて利益を上げることを考えるでしょう。このチラシには「30 年借りた後で買い取る」とはどこにも書いていません。買い取り時期も明示できないままの「買い取り論」が住民投票の選択肢にならないのは当然の話です。

このように、住民投票を 1 票差で否決した与党の「言い訳」は、検討に値しない話ばかりです。

したがって、一刻も早く住民投票を行なって、市役所庁舎の建設場所を市民の多数意思で定め、リース庁舎の賃借をあと 5 年の契約期間内に終わらせるべきです。

稲葉市長は、新庁舎建設まで「6、7 年以上かかる」との認識を示しています。つまり 5 年後にまたリース庁舎の契約を延長するということです。ごみ処理施設の建設場所選定と同じで、ただだらと無為無策を続ける腹なのです。無駄遣いを黙って見過ごすわけにはまいりません。

■1966 年、岩手県生まれ。秋田県・宮城県・山形県を経て小金井市に転入。小金井市立本町小学校・小金井第一中学校、東京都立小金井北高等学校、中央大学法学部を卒業。

■株式会社河北新報社 (本社=仙台市) に新聞記者として入社、編集局配属。同社退職後、小金井市に戻り、地元衆議院議員の秘書を務めるかたわら、小金井市内で古紙リサイクル運動を行なう。

■1993 年、26 歳で市議選初当選 (社民連公認)。1997 年再選 (民主党公認)。2001 年三選 (民主党公認)。2005 年四選 (無党派無所属)。この間、議会では議会運営委員長・予算特別委員長・農業委員などを務め、現在は行財政改革調査特別委員長・議会報編集委員長・二枚橋衛生組合議会議員などを兼務。市議会では二番目に若く、「行動する市民派議員」として、市民の皆さんへの情報発信を続け、人件費の無駄遣い、駅前ハコモノ建設の無駄遣い一掃をめざして奮闘中。

■地域では、小金井市商工会総代・貫井北町商工振興会企画部長・小金井薪能理事・小金井青年会議所シニアクラブ会員・中央大学学会小金井支部幹事・都立小金井北高等学校同窓会幹事長・琉球文化を普及する会事務局長・駅前庁舎の是非を問う住民投票を実現する会幹事・蛇の目跡地周辺の環境を良くする会理事・小金井東部の環境を良くする会会員・「駅前ハコモノ」よりも「ごみ」市民連絡会事務局長・こがねい情報公開市民会議共同代表などとして活動しています。

■身長 179cm 体重 80kg / 血液型 O 型 / 星座 = おうし座 / 好物 = とんかつ・坦坦麺・生牡蠣・泡盛など / 好きな言葉 = 「不楽是如何 (伊達政宗)」 「凡事徹底」

## お知らせとお願い

■市議選の告示前日となる 3 月 21 日 (土) 19:00~、萌え木ホールにて、「市政を変える市民のつどい」を開催します。ぜひ、ご参加願います。

■活動資金カンパにご協力いただければ幸いです。郵便振替口座番号 (00140-2-595639) 口座名 (こがねい情報公開市民会議)

■渡辺大三ホームページを開設しました。順次コンテンツを増やしてまいります。

<http://daizou.org/>

■この 7 年間、「e 小金井市議会」で、ほぼ毎日、市政情報を速報しています。ぜひ御覧ください。

<http://www.koganei.com/e-gikai/>